



十日町 Tokamachi 市議会だより

市民と議会の
ネットワーク

平成27年7月25日発行

■発行 十日町市議会 十日町市千歳町3丁目3番地 TEL.025-757-3111 FAX.025-757-5999
E-mail: t-gikai@city.tokamachi.lg.jp TEL.025-757-3119 (直通)

■編集 議会だより編集委員会

No.44

癒し満点の小松原湿原(中里)



苗場山のふもと、標高1,350～1,600メートルの台地に展開する、上信越高原国立公園

Contents

今号の内容

- ▶ 議会構成 2
- ▶ 一般質問 (7人) 3～6
- ▶ 常任委員会審査結果 6
- ▶ 補正予算の主な内容 7
- ▶ 【特集】会派通信・議会日誌 8～9
- ▶ 議決結果 10
- ▶ 政務活動費執行状況報告・議会傍聴 11
- ▶ 議会レポート・永年勤続表彰 12



高山植物の「ワタスゲ」が見ごろ

議会構成が

決まりました

5月13日に臨時会が開催され、新しい議会構成が決定しました。

議長

川田 一幸



副議長

鈴木 一郎

監査委員

宮沢 幸子

議会運営委員会

委員長 近藤 紀夫
副委員長 小嶋 武夫
委員 小林 弘樹

委員 宮沢 幸子
委員 羽鳥 輝子
委員 飯塚 茂夫
委員 太田 祐子
委員 村山 邦一

総務文教常任委員会

委員長 羽鳥 輝子
副委員長 仲嶋 英雄
委員 藤巻 誠

委員 小嶋 弘樹
委員 安保 隆
委員 鈴木 一幸
委員 涌井 充雄
委員 小野嶋 哲雄

産業建設常任委員会

委員長 飯塚 茂夫
副委員長 高橋 洋一
委員 高橋 哲一

委員 小林 均
委員 遠田 雄
委員 小嶋 武夫
委員 村山 邦一

厚生環境常任委員会

委員長 太田 祐子
副委員長 吉村 重敏
委員 大嶋 由紀子

委員 鈴木 和雄
委員 宮沢 幸子
委員 近藤 紀夫
委員 庭野 政義

【所管事項】

福祉課（福祉事務所）・市民生活課・子育て支援課・発達支援センター・健康づくり推進課・国民健康保険診療所及び環境衛生課所管に関する事項

【所管事項】

産業政策課・農林課・観光交流課・中心市街地活性化推進室・建設課・都市計画課・上下水道局及び農業委員会所管に関する事項

【所管事項】

企画政策課・総務課・財政課・防災安全課・税務課・会計課・教育総務課・学校教育課・生涯学習課・文化財課・スポーツ振興課・議会事務局・選挙管理委員会・監査委員及び固定資産評価審査委員会所管に関する事項。その他、他の常任委員会に属さない事項

信濃川・清津川対策特別委員会

委員長 藤巻 誠
副委員長 仲嶋 英雄
委員 高橋 俊一

委員 鈴木 和雄
委員 鈴木 一幸
委員 太田 祐子
委員 高橋 洋一

十日町・松代病院特別委員会

委員長 庭野 政義
副委員長 小野嶋 哲雄
委員 大嶋 由紀子

委員 村山 達也
委員 吉村 重敏
委員 宮沢 幸子
委員 安保 隆子
委員 羽鳥 輝子

議会改革特別委員会

委員長 遠田 延雄
副委員長 小林 均
委員 小林 弘樹

委員 近藤 紀夫
委員 小嶋 武夫
委員 飯塚 茂夫
委員 村山 邦一

十日町地域広域事務組合議会議員

村山 達也

高橋 俊一

藤巻 誠

仲嶋 英雄

鈴木 和雄

宮沢 幸子

鈴木 一幸

太田 祐子

村山 邦一

川田 一幸

津南地域衛生施設組合議会議員

鈴木 一郎

高橋 洋一

川田 一幸

議会だより編集委員会

委員長 小野嶋 哲雄

副委員長 高橋 俊一

委員 大嶋 由紀子

委員 福崎 哲也

委員 村山 達也

委員 涌井 充

よろしくお願
い
いたします

地方版総合戦略策定と 空家対策について



太田 祐子 議員

版総合戦略の策定を今年度中に求めています。

①市の最上位計画である第二次総合計画との整合性について
②策定に向けた具体的な取組みについて
③10月末までに策定すると上乗せ交付金が配分されるが、策定期間について

質問1 国は2060年に1億人程度の人口を確保するために2015年度から19年度までの5力年計画で、人口減少対策や地域活性化策を盛り込んだ地方

答弁1 総合戦略策定の目的である人口減少の克服と地域の活性化は、当市においては合併以

活力ある農業振興について



村山 邦一 議員

質問1 多面的機能を持つ農業は、市産業の柱と考えます。

合併から10年が経過し、今年度は総合計画の策定が予定されています。コメ政策の見直しは、

答弁1 ①当地域の農業について
生産調整・経営所得の政策から、農協・農業委員会制度等の全面見直しとなり、市農業にとって大きく影響があると考え伺います。②総合計画において、どのような方針で策定される考えか。③農地確保・担い手確保・農業所得確保の考え方は。④中山間地農業は、集落維持を左右すると思うがその施策は。

前からの最重要課題です。第二次総合計画と整合を図りつつ策定します。②第二次総合計画と並行的に進めていきますが、総合戦略策定会議を設置し、産業界・国県の行政機関・教育機関・金融機関や地域団体等の代表者などに参画してもらい、幅広い意見を反映させたいと考えています。③本年10月30日の計画策定を目標に進めます。

質問2 ①空家等対策の推進に関する特別措置法の全面施行に伴う当市の考え方について②空家等の把握について

答弁2 ①この法律は、地域住

ては、米価の大幅下落や農業者の減少・高齢化・耕作放棄地の増加など多くの課題があります。一方で中山間地域を中心に新規就農や、地域おこし協力隊による定住が増えています。第二次総合計画では、これまでの取組みを検証した上で、「需要に応じた米作り」などの基本路線を踏襲しつつ、十日町市ならではの強みをさらに伸ばし、農業者が将来に希望が持てる計画とする考えです。②農地確保については、農地中間管理事業等の活用により、農地を担い手に集め、有効活用すること

民の生命、身体、または財産の保護、生活環境の保全、併せて活用を促進するための空家対策を総合的かつ計画的に推進することを目的としています。特に危険な状態にある空家については、第一義的には所有者自らの責任による対応を求めるものですが、管理責任を全うしていただけない場合は、法の手続きを踏み、最終的には行政主導で撤去することも可能になりました。今後調査基準を整え調査を開始したいと思っています。②現在把握している、管理不全な空家は43棟です。今年度、活用が見込ま



空家を活用し移住してきた家族

等により条件整備を進めることが肝要です。



担い手確保が課題の農業

病院・医療・介護 地域医療構想策定にどう臨むか



安 保 寿 隆 議員

護への流れをつくるという。人材育成、金もかけて豪雪中山間に合った独自の体制強化が必要ではないか。

質問1 3月、厚労省の「地域医療構想策定ガイドライン」が示された。全国の病床を10年後に123万床から107万床へと16万床減らし、在宅医療・介

答弁1 現在、介護保険のいろいろな変化があり、市の独自性が発揮できる施策も当然織り込まれています。当市も検討を始めているところです。当然、地域性を考え、特にこの豪雪、中山間地を抱える、高齢化の進んだ十

日町市としてのプランを市としても積極的に皆さんと共に築き上げたいと考えています。

質問2 魚沼基幹病院が開院した。十日町病院、松代病院への影響はどうか。

答弁2 両病院に確認しましたが、ともに診療体制に悪い影響はないとのこと。十日町病院では新病院開院に合わせて新設予定の歯科口腔外科の医師が前倒しで6月からの勤務となり、近日中に診療開始予定と聞いています。また、魚沼基幹病院からは内科、心臓外科の医師から補助に来ていただく等、うまく

連携が図られていて魚沼基幹病院開院の良い影響が出ているそうです。

質問3 平成28年10月に中条病院が統廃合される計画が報道された。老健施設、介護系、在宅医療サービスはどうなるか。市としてどのように関わるか。

答弁3 老人保健施設、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーションはこれまでどおり継続すると聞いています。市としては、地域医療、介護系、在宅医療系サービスが後退しないような対応を厚生連に求めるとともに必要な支援を行います。

国保の構造的課題が 今回の財政支援で解決するのか



鈴 木 和 雄 議員

質問1 60年近く国民皆保険体制を支えてきた国保制度が変わるうとしています。そこで、次のことを伺います。①今回財政上の構造的課題（年齢が高く医

療費水準が高い・低所得者が多く保険税の負担が重い・小規模保険者が多い等）の課題解決に向けた財政支援の内容は。②都道府県が財政運営の責任主体となることで、市国保はどう変わるのか。③県に基金創設や運営協議会を設置することで、新たに負担は発生しないのか。民主的運営に影響がないのか。

答弁1 ①この法律改正により、平成29年度までに毎年全国の国保保険者に総額約3、400億円の財政支援の拡充等が実施されます。まだ算定方法は示されていませんが、厚労省からは、今年度から公費投入する1、700億円については、被保険者1人当たり5、000円規模の支援になるとの説明がありました。当市のように低所得者が多い保険者に対しては、さらに割り増しされるのではと期待しています。②広域化により高額医療費の発生等のリスクが県内全体に分散され急激な保険料の上昇が抑えられ、かつ地域医

療構想を含む医療計画策定者である都道府県が国保財政の運営主体を兼ねるので、これまで以上に良質で効率的な医療の提供に資するものと期待しています。③議論が始まった頃は、国保の広域化については、被保険者の負担増が懸念され、当市も慎重な審議、検討ということで意見を申し上げてきましたが、例えば収納率の良い市町村国保には優遇策がとられるのではないかと、徐々に理解が広がってきたと感じています。市長会やいろいろなタイミングを捉えて、そうしたところで著しい不公平

が起こらないように私どもも保険者としてしっかりと意見を述べていきたいと思います。

	加入世帯	国保税 (円/1人)	平均所得 (円)	資格証 短期証 交付数	収納率 (現年分)
H24年度	9,060	89,851	534,204	139	97.22%
H25年度	8,835	89,390	530,687	122	97.48%
H26年度	8,621	90,297	502,999	122	97.33%

十日町市国保の現状

◎厚労省の「地域医療策定ガイドライン」の概要

- ①都道府県は、毎年4つの病床機能を国に報告する。
- ②10年後を見通した各医療機能の将来推計を立てる。
- ③医療圏ごとに「地域医療構想調整会議」等を設置し、地域住民を含めた幅広い関係者で検討し、地域の実情に応じた地域医療構想を実現する。

◎厚労省の病床機能削減計画

- ・高度急性期病床 現在 19万床 → 18万床（1万減）
- ・急性期病床 58万床 → 35万床（23万減）
- ・回復期病床 11万床 → 26万床（15万増）
- ・慢性期病床 35万床 → 28万床（7万減）
- 合 計 123万床 → 107万床（16万床減）

（平成26年診療報酬資料より）

安保寿隆議員作成

エネルギー構想・空家対策・ 街路灯のLED化を問う



藤 巻 誠 議員

質問1 市内のエネルギー創出量の30%を再生可能エネルギーで賄うという市長構想について
①太陽光、水力、バイオマス等の現状と目標値は。②27年度の

具体的な取り組みは。

答弁1 ①現在の太陽光発電、地中熱利用、バイオマス利用の電力換算量は4、838メガワットです。25年度の市内年間電力消費量の1・5%に相当します。37年度には30%を目指します。②太陽光発電、ペレットストーブ、地中熱利用については家庭への普及を図るため引き続き助成を行います。小水力発電

については発電候補地の調査をしています。バイオマス発電については、バイオマス産業都市構想の策定に向け、準備を進めております。

質問2 市内の空家対策について

①最新の管理不全の件数 ②行政代執行が必要な空家への対応 ③市独自の補助制度の新設 ④自主防災組織との連携が不可欠だが。

答弁2 ①現在把握している管理不全な空家は43棟です。②所有者が管理責任を全うしない場合は「助言又は指導」「勧告」「命令」「行政代執行」という対応

となります。③所有者の管理責任が原則なので補助制度は考えておりません。④自主防災組織等、地域に最も身近な組織の皆さんと連携していきたいと考えます。

質問3 街路灯・防犯灯のLED化について、設置と維持管理は町内会の負担です。支援制度の充実を。

答弁3 現在は、各町内で管理している防犯灯が故障・新設の場合に現物を支給し、設置工事費の負担や維持管理は町内会をお願いしています。今後は各町内の負担を軽減するため、故障以



街路灯をLED化に

外の切り替えも対象とし、LED化を促進するよう検討します。

と考えます。

教えない指導と その取組みについて



小 林 弘 樹 議員

質問1 良かれと思ってしていることが、教え過ぎ、与え過ぎになり、かえって自立を妨げてはいないか。先進的な取り組みをしている学校等では、自分で

考え、試行錯誤を積み重ねる「教えない指導」を重視しているが
①市の取組みは。②自立を促すために通学合宿をさらに拡充すべきでは。③アクティブラーニングの内容と取組みは。④教育で人を呼べるような町づくりのために、先進的な学校や保育園等の誘致を考えてはどうか。

答弁1 ①当市の学校教育の重点として「ふるさと十日町市を愛し、自立して社会で生きる子ども」をめあてとしています。す。「教えない指導」については、この「自立して社会で生きる子ども」と大きく関わる部分であり、児童生徒が自ら考え、自ら判断し、自ら行動する力を付けるための指導方法の一つに関連すると考えます。②生きる力を育む体験活動は非常に大切であり、通学合宿についても有用であると思います。拡充については、職員体制の整備や地域の皆さんの協力も必要なので、今後検討したいと思います。③アクティブラーニングとは、児童生

徒が主体的・協同的に学ぶ学習方法で、これまでも先生方が工夫して取り組んできた方法ですが、これからは、よりこうした学習方法が重視され、主体的に考える力を育むことが重要になってきています。今後の取組みとしては、各学校に活用力を高める授業改善を求め、アクティブラーニングの重要性を周知したいと考えています。また、児童生徒が学習に対して受け身にならないように、教師の意識を一層高めていく必要があります。④まちづくりの方針の一つとしてそういう観点があっても良い



自分で考えて、ものを作る子どもたち（和歌山県橋本市）

学校の空き教室の活用について



大嶋由紀子 議員

質問1 少子化により空き教室が増えています。文部科学省でも有効に活用するように勧めています。廃校や統合により子どもたちの姿が見えづらくなり、

学校と地域とのつながりも希薄になってきています。地域に開かれた学校、地域と共に歩む学校づくりをしていただきたい。地域の方は子どもたちに何かを教えてあげたいという思いの方が多いです。「子どもとお年寄りを離してはならない。なぜならそれは過去と未来を断つことになるからだ」と言う言葉があります。地域との関わり場の

としての空き教室の有効活用のお考えは。

答弁1 学級数の減少で生まれてきている教室は他の教育目的で有効に活用されています。

例えば、近年増加している特別な支援を必要としている子どもたちの教室としての使用です。また、学習効果を高めるための少人数学習室、異学年の子どもたちが集まって学ぶ集居室、資料館などに利用しています。さらに、学校以外の利用としては、放課後児童クラブとして、小学校10校で利用しています。

今後の空き教室の利活用についてですが、増加が見込まれる放課後児童クラブの教室として、また、地域の資料室などの活用について検討したいと思っています。その時々々の状況を勘案し、子どもたちの学習や生活が充実したものとなるよう有効に活用したいと考えます。

地域のお年寄りとの交流活動については、積極的に進めていかなければならないと思います。現状では野菜を育てる、米を育てる、着付けや作法を教えるなど、地域のお年寄りの皆さんの力、知恵を借りながら教育活動、



空き教室を活用し地域の方とふれあう様子（他市の例）

体験活動を実施しています。ふるさと十日町を愛する活動については、今後もいろいろな場面を利用しながら展開して行きたいと考えます。

常任委員会

TOKAMACHI

審査結果

提出された議案のうち、それぞれの常任委員会に付託され審査した議案と、その結果は次のとおりです。

6月定例会

総務文教常任委員会

◆十日町市税条例の一部を改正する条例制定



6/19 総務文教常任委員会

◆十日町市入湯税条例の一部を改正する条例制定

産業建設常任委員会

◆十日町市上水道給水条例の一部を改正する条例制定

原案どおり可決しました。

◇TTP交渉に関する請願

採択となりました。



6/19 産業建設常任委員会

厚生環境常任委員会

今回は付託された案件がありませんでした。



一般会計補正予算と主な事業

5月臨時会（第1回）

《平成26年度補正第8号》

今冬の豪雪を受けた道路除雪
経費の追加などを専決処分

○市道除排雪経費（建設課ほか）

3億4、700万円

○財政調整基金積立金（財政課）

4億円

《平成27年度補正第1号》

市民文化ホール建設に係る経
費などを専決処分

○市民文化ホール・中央公民館 建設事業（生涯学習課）

・設計監理委託料の追加

4、238万円

○消雪対策事業（農林課）

・農地農業用施設除雪経費への
補助金の追加

1、200万円

6月定例会

《平成27年度補正第2号》

人事異動に伴う人件費の調整
のほか、大地の芸術祭関連経費、
融雪による災害復旧事業費など

○ふるさと集落生活圏形成推進 事業（川西支所地域振興課）

・瀬替えの郷せんだを拠点とし
た仙田地区創生プラン策定経
費

418万円

○臨時福祉給付金事業（福祉課）

・平成26年度に引き続き実施さ
れる臨時福祉給付金及び給付
に係る事務経費

9、029万円

○医師研究資金貸与事業（健康 づくり推進課）

・貸与対象者増に伴う貸付金の
追加

400万円

○きのこ生産施設整備事業補助 金（農林課）

・ナメコ生産事業者への県補助
金採択に伴う補正

365万円



生育室で栽培されているナメコ

○清津峡観光施設整備事業（中 里支所地域振興課）

・清津峡小出温泉の土地、建物
等購入に要する経費

1、900万円

○大地の芸術祭運営事業（観光 交流課）

・文化庁補助金等の採択に伴う
運営委託料等の追加

1億4、950万円

○大地の芸術祭廃校舎・空家再 活用事業（観光交流課）

・総務省補助金等の採択に伴う
工事請負費等の追加

2、243万円

○光の館改修事業（観光交流課）

・照明LED化のための改修委
託料

2、390万円

○越後妻有雪花火事業（観光交 流課）

・文化庁補助金の採択に伴う委
託料の追加

2、900万円

○地域スポーツコミッション活 動支援事業（スポーツ振興課）

・市及び十日町市スポーツコミ
ッションが行うスノーモービ
ルツアー等事業化に係る経費

546万円

○現年発生農地農業用施設災害 復旧事業（農林課）

・融雪災害復旧に要する経費の
追加

1億888万円

○現年発生林道施設災害復旧事 業（農林課）

・融雪災害復旧に要する経費の
追加

3、489万円

○現年発生土木施設災害復旧事 業（建設課）

・融雪災害復旧に要する経費の
追加

1、324万円



融雪により路肩が決壊した農道

【特集】会派通信

⑧

会派の構成に異動がありましたので、今回は全会派を活動方針と共に掲載いたします。

政策クラブ 自由の風



市議会議員として、資質、建設的な政策立案能力の向上を目指し、先進自治体やモデル事業の視察を行う。各分野別の政策課題について情報収集を元に政策論議を高め、これを政策に反映させる。市政の発展に貢献する政策集団として市民目線に立つた政治活動を目指すと共に議会改革の研究と推進を目指す。

会派長

近藤 紀夫
羽鳥 輝子
遠田 延雄
吉村 重敏
藤巻 誠
高橋 俊一

不羈の会 (ふきのかい)



市勢の発展と住民福祉の向上を図るべく、市政課題に果敢に取り組み、行政に対して提言とチェック機能を果たしていくことが重要であると考えています。「地方創生」が声高に叫ばれている昨今、地方の活性化のチャンスと捉え、産業の活性化による雇用の場の創出に努め、人口減少対策に取り組む活動に、邁進して参りたいと思います。

会派長

飯塚 茂夫
仲嶋 英雄
庭野 政義
涌井 充

三矢会 (さんしかい)



十日町市の元気は、経済の活性化なくしては生まれえないと思っています。基幹産業である農業の衰退は、市内の飲食店や商店、また床屋さんに至るまで影響を与えていると感じています。市内のすべての産業、企業が元気になることを目指したいと考えます。限られた財源でもありますので、時に優先順位等にも配慮しながら取り組んで参りたいと思っています。

会派長

小嶋 武夫
高橋 洋一
鈴木 一郎
村山 達也

議会日誌

4月
▽
6月

【4月】

9日・信濃川・清津川対策特別委員会

10日・議会だより編集委員会

16日・総務文教常任委員会

20日・議会改革特別委員会協議会

23日・信濃川・清津川対策特別委員会

・議会改革特別委員会

27日・全員協議会

・議会運営委員会

【5月】

1日・第1回臨時会

8日・議会運営委員会

13日・第2回臨時会

・全員協議会

20日・総務文教常任委員会

・産業建設常任委員会協議会

・厚生環境常任委員会協議会

【6月】

4日・産業建設常任委員会

礎 (いしずえ)



会派長 小林弘樹
宮沢幸子
福崎哲也
大嶋由紀子

基礎を疎かにすると、上物は不安定でもろくなる。樹木もしっかりと張った根があるから倒れない。目に見えにくい所こそ大切にしよう、という思いから会派名を「礎」としました。
平均年齢が一番若い会派なので、機動力を発揮し、議員としての資質向上に努めたいと思います。

会派とは

当市議会では、会派制を採用しており、会派を中心として議会運営を行っています。会派では市政について議論を行うとともに、調査研究活動を行っています。当市議会では、3名以上で会派を構成することとしています。

日本共産党十日町市議団



安全で安心して暮らし続けられるまちづくりを活動の指針。
戦争法案は、なんとしても廃棄にし憲法を守る。

また、東京電力福島第一原発事故の原因究明が無いままの原発再稼働、社会保障改悪、TPPなど、国政にハッキリものを言わなければ、地域も暮らしも守れません。市民の願いを市政に届け、その活動をお知らせします。

会派長 村山邦一
安保寿隆
鈴木和雄

市民クラブ 凜 (りん)

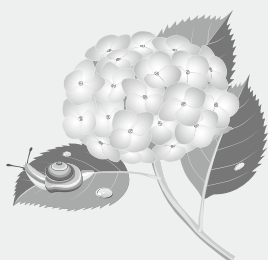


会派長 太田祐子
小林均
小野嶋哲雄

現場と対話重視を基本とした市政運営にするために次の項目を活動方針とする。
★地域や集落、諸団体との意見交換の機会を多く持ち、共に課題解決策を見出すように努める。
★地方創生を推進するために、先進事例を学び、重要課題の早期実現に向けて政策提言能力の醸成を目指す。
★目的やテーマ等が一致する場合は、他会派との交流を図り、資質の向上に努める。



- ・総務文教常任委員会協議会
- ・厚生環境常任委員会協議会
- 5日・議会運営委員会
- 12日・22日
- ・平成27年第2回定例会
- 12日・本会議（諸般の報告・議案審議）
- 15日・議会だより編集委員会
- 15日・16日
- ・本会議（一般質問）
- 19日・総務文教常任委員会
- ・産業建設常任委員会
- ・議会運営委員会
- 22日・本会議（各委員長報告・追加議案審議）
- ・全員協議会
- ・厚生環境常任委員会協議会
- 25日・厚生環境常任委員会管内視察
- 26日・産業建設常任委員会管内視察



5月臨時会議決結果

議案番号等	件 名	採決状況	議決結果	区分
市長提出議案	59 専決処分の承認（平成26年度十日町市一般会計補正予算（第8号））	全員賛成	承認	第1回臨時会
	60 専決処分の承認（十日町市税条例等の一部を改正する条例）			
	61 専決処分の承認（十日町市都市計画税条例の一部を改正する条例）			
	62 専決処分の承認（十日町市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）			
	63 専決処分の承認（十日町市国民健康保険条例の一部を改正する条例）			
	64 専決処分の承認（平成27年度十日町市一般会計補正予算（第1号））	全員賛成	同意	第2回臨時会
	65 固定資産評価員の選任（春日 弘之 氏）			
	66 信濃川の河川環境と水利使用の調和に関する覚書の締結	全員賛成	原案可決	第2回臨時会
	67 公益的法人等への十日町市職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例制定			
議会提出議案	68 監査委員の選任（宮沢 幸子 氏）	賛成多数	同意	第2回臨時会
	6 議会常任委員会委員長及び副委員長の選任報告		報告	
	7 議会運営委員会委員長及び副委員長の選任報告		報告	
	8 議会特別委員会委員長及び副委員長の選任報告		報告	
	9 十日町地域広域事務組合議会議員の選挙		選挙	
	10 津南地域衛生施設組合議会議員の選挙		選挙	
	11 議長の辞職許可		許可	
	12 議長選挙		選挙	
	13 副議長の辞職許可		許可	
議会提出議案	14 副議長選挙		選挙	
	15 議長の常任委員辞任		許可	

6月定例会議決結果

議案番号等	件 名	採決状況	議決結果
市長提出議案	69 人権擁護委員候補者の推薦（根津 敬一郎 氏）	全員賛成	同意
	70 工事請負契約の締結（（仮称）市民交流センター整備（建築本体）工事）	全員賛成	原案可決
	71 工事請負契約の締結（（仮称）市民活動センター、まちなか公民館整備（建築本体）工事）		
	72 建物の無償譲渡（旧十日町市農村体験学習館）	賛成多数	原案可決
	73 十日町市税条例の一部を改正する条例制定		
	74 十日町市入湯税条例の一部を改正する条例制定	全員賛成	原案可決
	75 十日町市上水道給水条例の一部を改正する条例制定		
	76 平成27年度十日町市一般会計補正予算（第2号）	賛成多数	原案可決
	77 平成27年度十日町市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	全員賛成	原案可決
	78 平成27年度十日町市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第1号）		
	79 平成27年度十日町市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）		
	80 平成27年度十日町市介護保険特別会計補正予算（第1号）		
	81 平成27年度十日町市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）		
	82 平成27年度十日町市下水道事業特別会計補正予算（第1号）		
	83 平成27年度十日町市松之山温泉配湯事業特別会計補正予算（第1号）		
	84 平成27年度十日町市水道事業会計補正予算（第1号）		
	85 工事請負契約の締結（松之山中学校校舎改築工事）		
	86 平成27年度十日町市一般会計補正予算（第3号）		
議会提出議案	16 T P P交渉に関する意見書		
	17 議員派遣		
請願	3 T P P交渉に関する請願	全員賛成	採 択

賛否等の状況

賛否が分かれた議案のうち、起立採決等により個々の賛否が明らかでない議案について掲載。
（○：賛成、×：反対、－：欠席）※議長は議決に加わらず。

議案番号等	議決結果	賛成	反対	政策クラブ 自由の風					ふ き 不羈の会			さん し 三 矢 会			い し ゑ 礎				日本共産党 十日町市議団		市民クラブ りん 凜					
				近藤紀夫	羽鳥輝子	遠田延雄	古村重敏	藤巻 誠	高橋俊一	飯塚茂夫	仲嶋英雄	庭野政義	涌井 充	小嶋武夫	高橋洋一	鈴木 一郎	村山達也	小林弘樹	宮沢幸子	福崎哲也	大嶋由紀子	村山邦一	安保寿隆		鈴木和雄	太田祐子
73	原案可決	21	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	※
76	原案可決	21	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	※

政務活動費執行状況報告

政務活動費は、

十日町市議会議員の調査研究に必要な経費の一部として、申請のあった会派に対し市から交付されます。

会派に所属する議員1人につき年額15万円を、人数分一括で会派に交付し、残金が生じた場合は市へ返還されます。

平成26年度（平成26年4月～平成27年3月交付分を掲載）

単位：円

会 派	政策クラブ 自由の風 12人	日本共産党 十日町市議団 3人	不 覇 の 会 3人	三 矢 会 3人	市民クラブ 凛 3人	合 計
当 初 交 付 金 額	1,800,000	450,000	450,000	450,000	450,000	3,600,000
支 出	研究研修費	120,520	217,829	0	0	338,349
	調 査 旅 費	1,679,480	0	450,000	432,029	2,561,509
	資 料 費	0	56,650	0	0	56,650
	事 務 費	0	22,481	0	17,971	40,452
	その他経費	0	0	0	0	0
	合 計	1,800,000	296,960	450,000	450,000	2,996,960
残 額（返還額）	0	153,040	0	0	450,000	603,040

※平成26年度政務活動費の申請が無かった議員（2人）には、政務活動費が交付されませんでした。

【政務活動費使途基準】

項 目	内 容
研究研修費	会派が研究会及び研修会を開催するために必要な経費または会派に所属する議員が他の団体の開催する研究会及び研修会に参加するために要する経費（会場費、講師謝金、出席者負担金、会費、茶菓代、交通費、旅費、宿泊費、器具借上料等）
調 査 旅 費	会派の行う調査研究活動のために必要な先進地調査または現地調査に要する経費（交通費、旅費、宿泊費等）
資 料 費	会派の行う調査研究活動のために必要な図書、資料等の購入及び印刷に要する経費（参考図書、新聞・雑誌、定期刊行物等の購入及び調査研究資料の印刷等）
事 務 費	会派の行う調査研究活動のために必要な消耗品の購入、通信等に要する経費（事務用消耗品購入、郵便料等）
そ の 他 経 費	上記以外の経費で会派の行う調査研究活動に必要な経費

全会一致で可決

十日町市議会では、この度のJR東日本の流水占用許可の更新申請に先立ち、両者で結ばれる協定を議決事件とするため、平成27年3月議会において、所要の条例改正を行いました。

その後、信濃川・清津川対策特別委員会での議論を経て、平成27年第1回臨時会において、市長から提案のあった「信濃川の河川環境と水利使用の調和に関する覚書」について採決を行い、全会一致で可決し、これを

議会傍聴

変人の思うこと

（十日町 70代 男性）

市議会を傍聴して思ったこと。今回は動員があったのやら、10名ほどいた。動員が無ければ2名か3名位のところかな。

質問者は1、260票も入った人だからもつとボランティアでも何でも動員すれば活性化するんじゃないかな。

質問者はハキハキはぎれも良

受け5月8日に覚書が締結されました。



起立採決により全員賛成

くわかりやすかった。けれども、答弁者は何を言っているか良く聞こえないし、わかりづらい。でも何回もダメ出しだけはわかった。良く考えたら工場見学か職場見学みたいなものだ。出かける人にもつとわかりやすい説明がある人様も行くんじゃないか。

鍵をかけて、インターホンで対応する学校を地域住民に開放なんてユメの又「ゆめ」だろう。議会は仕事で高給をもらっている。タダでボランティアに人は行かない。

■管内視察報告

当委員会は市民にとって一番身近な関係部署を担当しています。構成委員が変わり、新たな気持ちで福祉・環境の向上に貢献できる政策提言に取り組んで参ります。

6月25日、施設の現地視察を実施しました。津南町の障がい者就労継続支援A型事業所「㈱サンファーム」は椎茸栽培を行っています。現在32人を雇用し、その半分以上が十日町市の人です。A型事業所は、通常の事業所で雇用が困難な人が、雇用契約に基づく就労が可能な施設で、最低賃金が支払われます。当市では、廃校となった仙田小を利用し、サンファームの営業所として今年度開設を目指しています。明るく誇りを持って働いている人達の姿に感動しました。

特養「桜湯の里」は、上村病院の療養型病棟を昨年度改築し、48人が入居しています。
老健「レインボーヴィラ清津」

では、リハビリ専用スタッフが常駐し、施設運営と在宅サービスの充実を図っています。

健康増進施設「ゆあず」は、プール、トレーニングジム、多目的ホール、植物園等を備え、市の委託事業として介護予防運動も実施し、多くの高齢者が利用しています。3施設とも清潔感あふれ、温泉が完備された素晴らしい環境です。

中心市街地に開設した障がい者グループホーム「いずみ」は、十日町福祉会が運営し、7人が居住しています。各々の自室はきちんと整理整頓されています。

今回の視察を生かし、障がい者もお年寄りも安心して住み続けるために全委員で討議し、担当課に対して提案して参ります。



A型事業所(㈱サンファーム)の視察

皆さんも市議会を傍聴してみませんか？

次の9月定例会は、9月初旬に予定しています。詳しくは議会事務局へご照会ください。

電話 (025) 757-3119 (直通)

インターネットで
本会議の様子を配信しています！

定例会の生中継や過去の
本会議をパソコンで
見ることができます。
ぜひ、ご覧ください。



視聴方法

十日町市ホームページ → 十日町市議会(左側中段)

→ 議会中継 <http://www.tokamachi-city.stream.jfit.co.jp/>

* 会議録の検索は [会議録の検索と閲覧](#)

永年勤続表彰



去る4月7日に開催された第90回北信越市議会議長会定期総会及び6月17日に開催された第91回全国市議会議長会定期総会において、永年勤続表彰を受けました。
なお、高橋議員、小野嶋議員は議長会の表彰規程により町村議会議員の在職期間が換算されています。

◎在職15年以上表彰

高橋 洋一 議員
川田 一幸 議員
涌井 充 議員
太田 祐子 議員

◎在職10年以上表彰

小野嶋 哲雄 議員
鈴木 和雄 議員
仲嶋 英雄 議員

あとがき

議員の任期も折り返し点を過ぎ、今年は委員会構成の異動があり、議会だより編集委員長を仰せつかりました。紙媒体の氾濫する中、前編集委員会でも議論され方向づけがされた、市民が読みたくなる、手にしたくなる「議会だより」の刷新に向けて取り組みたいと考えます。

「市民の皆さんが求める議会・議員の姿とは」を自らにも問いながら、市民の生活に密着した情報の発信に努めてまいります。その結果、情報に捉われず、将来思考の情報発信に努めたいです。

「この条例・制度が施行されると市民の暮らしがこのように変わります。」とか、国・県の制度を上回る当市の市民サービス状況とか、他市に自慢できる十日町市議会づくりに貢献できるよう取り組んでまいります。

市民の皆さんのご意見や情報提供をお待ちしています。

(小野嶋哲雄)

